

新時代

視覚障害に関する研究と情報



1975年 第2号 No. 25

この子らとともに 毎日新聞社点字毎日編

——盲学校教師の実践記録集——

定 価 500円（送料別 160 円）

お申し込みは日本盲人福祉研究会へ！

巡回指導と交流学习

巡回指導を実際に行なっているのは、大阪府立盲学校の浅野仁一郎先生。普通校に在籍する強度弱視児を巡回し、学習の手助けをしている。

浅野先生談　N君は視力0.05（両眼）で、小学校に入学する時、両親も盲学校に入学させるか、普通校に入れるかたし迷われましたが、結局巡回指導によって普通校で学ばせようと、決心されました。

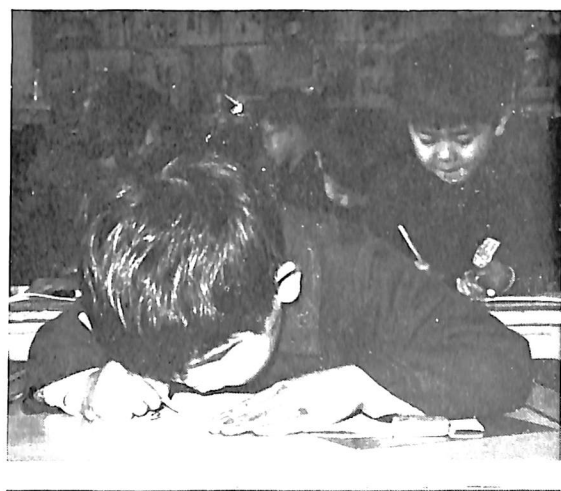
週1回巡回し、主として放課後、弱視訓練や教科学習、運動等の特別指導を行なっています。

左上の写真のように、教室での学習にも参加してアドバイスをすることもあります。

浅野先生はN君の他、南河内郡白木小学校のK子さん、松原市立南小学校のK君も指導しています。



週1回巡回指導を受け、小学校でがんばるN君（貝塚市立西小学校1年）



顔をすりつけるようにして漢字の練習、でも書取りの成績はクラスでも良い。



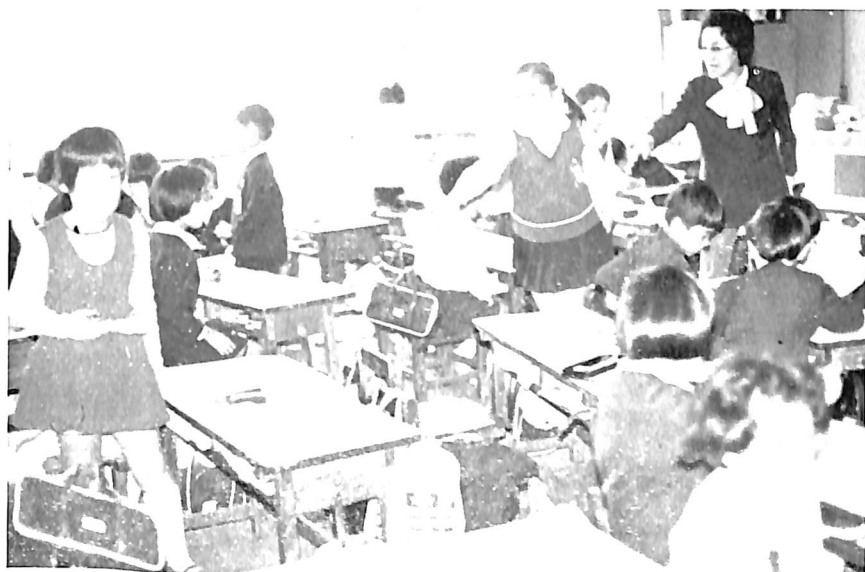
巧緻性を要求される
工作はむずかしい学習
巧緻性を要求される工
作はむずかしい学習の
1つ。それでも一生懸
命に製作にはげむN君。

巡回指導で一番留意す
るのは友人関係である。
仲良しの友だちに囲ま
れて……。



板書の見え方を調べ、
担当の先生の指導の参
考にさせていただく。
また、機会をみては、担
当の先生からその子の
学習の様子なども聞く。

大阪市立盲学校では、同じ視力障害児だけの集団では得られない経験を積ませたいということが動機となり、昭和43年度より隣接の大阪市立豊里小学校との交流学習を始めた。以後今年で7年目を迎え、その間、交流学習に参加する学級も次第にふえ、現在では、全学年がそれぞれの実態に応じ、交流校の担任と十分話し合い、いろいろな形態の交流学習が実施されている。



交流授業前のひととき 豊里のお友だちが盲児に座席を教えている。



家庭科実習室で家庭科の料理の実習をしている。(豊里の先生の両わきにいる男児3名が弱視児)

4年体育 3人のグループで手をつないで、またぐ練習をしている。(正面めがねをかけている男児が弱視児)



6年 豊里の運動会に参加のため練習している。



←(正面めがねをかけている男児が全盲児)

(正面旗を持っている男児が弱視児)



目 次

1975年 第2号 No. 25

2 ページ評論	湖崎 克	2
座談会 どこへ行く盲教育？ 芹沢勝助・直居 鉄・福井章二郎・木塚泰弘		4
実践とこころみ		
中途失明者に対する訪問点字指導	藤野 克己	14
地図の学習—弱視児・3年生の場合—	黒川佐千代	21
物理的環境と視覚障害者（中） スウェーデン ICTA インフォメーションセンター編		25
インフォメーションコーナー		41
この人 弱視のオルガニスト 国越健司さん		45
質問に答えて		49
施設紹介 魂の活眼を成就して 一盲老人ホーム聖明園—		53
内外文献紹介		57
編集後記		61

立ち読み版はここまでとなっております。

続きをお読みになりたい場合には
社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター
までお問い合わせください。

編 集 後 記

○「この子らとともに」（毎日新聞社点字毎日編）に続いて、日本盲人福祉研究会が発行を企画していた叢書シリーズ第2弾、「働く盲人たち」（NHK編）が、いよいよ近くできあがります。視覚障害者の職業を知り、考えるための格好なハンドブックです。研究会の最も大きな事業の一つとして、皆様の絶大なご協力をお願いしなければならぬものです。皆様の周辺の方にも、ぜひご推奨下さい。

○本号からしばらくの間、トップの研究論文を休ませていただきます。なるべく読みやすく、親しみやすい雑誌にするために、色々の企画ものを予定しています。本誌では、その手始めに座談会を掲載しました。特に盲教育に関係のある方々のご意見やご感想をお寄せいただければ幸いです。

○本誌から文献紹介の国内の分を広島大の藤井聡尚先生にお願いすることになりました。しばらくの間は、すでに紹介されたものも出てくるかと思いますが、先生の書評がつきますので大変ご参考になるのではと思います。どうぞご期待下さい。

（田中徹二）

新 時 代 1975年 第2号 №25

年間購読料 1,500円（送料とも）

発行日 1975年4月1日

発行者 本 間 一 夫

編集者 田 中 徹 二

発行所 日本盲人福祉研究会

〒532 大阪市淀川区塚本3丁目12番
6-301

電話 (06) 309-2100

振替口座 大阪 40270

印刷所 合同印刷株式会社

〒130 東京都墨田区業平2-9-13
電話 (622) 1925番（代表）

協賛団体 日本点字図書館